

三浦海岸

河津桜ウォーキング

2023

伊豆の河津桜を見たいとは思っているけれど、グループで訪れるには遠過ぎる。インターネットで河津桜を近場で楽しめるところはないだろうかと探してみると、ヒットしたのが三浦海岸だった。

杉並からはちょっと遠いのではあるが、何とかかなりそう。京浜急行三浦海岸駅から線路沿いに河津桜が終点の三崎口駅迄の中間位まで桜並木が続き、更に線路下を潜って丘側に渡った小松ヶ池にも、見どころがあるとのこと。

アクセス

杉並から神田駅乗換で品川駅に。京急に乘換えて1時間程で三浦海岸駅へ。改札出口前集合10時30分。WINGSメンバー5名は、線路に沿って歩き始める。結構な桜見物の人並。



三浦海岸駅前広場



駅前広場の河津桜



駅前に続く河津桜



小松ヶ池 ↑ 河津桜

三浦海岸駅 ↑
案内図

京急線の西側に沿ってマンション前で東側に

河津桜と菜の花

一旦桜並木が途絶える。河津桜と再び出合えるには、15分ほど単調な歩道を進まなければならない。桜が見えて来る。ピンクの塊と足元の黄色が目飛び込んで来る。



途中染井吉野の並木があるがまだ蕾も



河津桜と菜の花のコラボ

桜並木

桜並木は、歩行 15 分程続いている。桜の本数は 1000 本程とのこと。歩道横の車側道を自動車が通るのが惜しい。車道との間の植栽スペースが、少しでも有ってくれたらと。



陸橋がゲートのよう：河津桜との再会



河津桜はほぼ満開



撮り鉄に変身！

電車の走行音がせまってくる。「河津桜と菜の花に加えて京急電車の3点セット」を撮るのは撮り鉄達の楽しみ。俄か撮り鉄となりカメラを構えてみた。

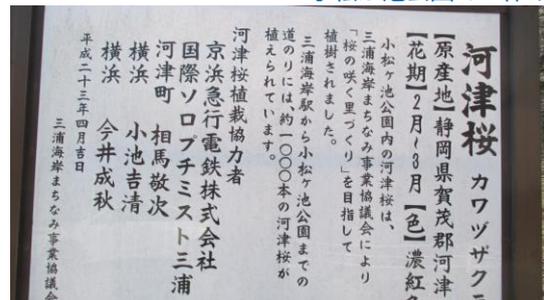


河津桜と菜の花と京急

小松ヶ池公園にて



小松ヶ池公園で一休み





この桜の向こう側に小松ヶ池が



小松ヶ池全景

小松ヶ池へ

桜並木はもう少し続いているのだけれども、線路下を潜って小松ヶ池へと向かう。周囲 500m程の池。この池の畔にも河津桜が植えられている。水面に映る桜が二重に映えている。



線路の下を潜って小松ヶ池へ



記念撮影を一枚



線路先も河津桜が



小松ヶ池見返し



小松ヶ池案内板



カワウのご挨拶



水神碑



今朝潜ったゲート陸橋を渡って降りて来る



記念碑

帰り道

ここから丘を越えて三浦海岸駅に向かうルートを進んで行く。三浦大根・キャベツ畑が広がっている。



丘の上から河津桜と小松ヶ池を



橋から桜並木を振り返る

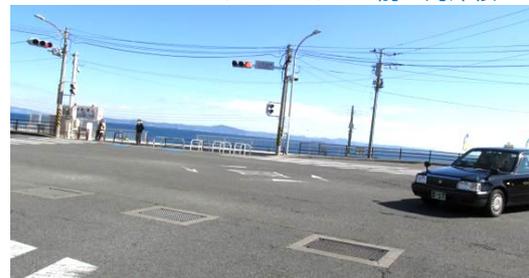
ランチ…東京湾

三浦海岸迄来ている。なので三崎港はもう近い。マグロを食べてみたい。

季節は冬ではあるけれど、海も見てみたい。海岸へはマホロバホテル前の丘を越えて15分程。海岸道路沿いにある「海わ屋」へ。古民家を移築した建屋。「しらす&まぐろすきみ丼」他を頂く。1,738円。新鮮で活きの良いマグロと冬の海を楽しんだ。



ホテルマホロバ前の河津桜



三浦海岸から房総半島は近い



海わ屋



内観:カヤ葺き屋根の内側が見られる



しらす&まぐろすきみ丼



東京湾:遠くに房総半島が



ランチ後に波打ち際を散歩

三浦海岸から三浦海岸駅は10分程。駅前の桜が「お疲れ様」と迎えてくれた。



三浦海岸駅に帰り着く

エピローグ

河津桜とマグロとのセットで目と胃袋を満たし、三浦海岸駅から品川駅へと帰ってきた。伊豆半島河津川沿いの景色と比べると桜と菜の花が主体で、添景・遠景が残念ではあるが桜は満開。天気快晴。マグロ美味。気温は低めだが海穏やかで満足度は可成りであった。歩数は約8000歩に。

例年2月には、観梅ウォーキングを実施してきたが、そろそろ見所は見尽した感もあり、河津桜を探してみたのだった。……来月3月末に再び桜見ウォーキングに立川へ出掛けようとしている。やはり桜は桜です。



209230222
suginami WINGS
記 JUSTing